



第6回 北極域オープンセミナープログラム

日時:2018年12月12日(水) 13:00~17:50 + 意見交換会(18:00~19:45)

場所:TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-tokyo-nihombashi/access/>

テーマ:「最新の北極域観測・予測技術と産業への応用の可能性と課題」

参加費:無料(意見交換会については有料)

主催:北極域研究共同推進拠点

- 国立大学法人 北海道大学 北極域研究センター
- 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 国立極地研究所 国際北極環境研究センター
- 国立研究開発法人海洋研究開発機構 北極環境変動総合研究センター

本セミナーについて:

温暖化による海氷減退などの環境変化を背景に、北極域は社会的・経済的変化に直面しています。このような変動を捉え、北極域をめぐっては、エネルギーをはじめとする資源開発や海運ネットワーク、農林水産業、観光、通信などの持続的利用に向けた可能性への議論が高まりつつあります。このような中、主に企業や官公庁の皆さまに北極域の最新情報を提供すると共に、新規参入の需要を喚起することを目的とします。

第6回の主旨について:

これまでの北極域オープンセミナーあるいは北極域産学官フィージビリティ共同研究からのアンケート結果を踏まえ、北極域科学技術研究の中でも重点課題として「北極域観測・予測研究技術」に焦点を当て、北極海航行、水産資源を始めとする社会・産業への応用とその影響や課題について最新の情報を提供し、社会実装や事業創出への可能性を議論することを主旨として開催します。

第1回~第5回については、次をご覧ください。

<http://j-arcnet.arc.hokudai.ac.jp/news/21762/>

プログラム:

- (1) 開会あいさつ (13:00-13:10)
北海道大学 北極域研究センター 特任教授 齊藤 誠一 センター長
- (2) 気候変動観測衛星「しきさい」による北極域観測とその応用 (13:10-13:50)
宇宙航空研究開発機構 地球観測研究センター 堀 雅裕 主任研究開発員
- (3) 気候変動による北極域永久凍土の変化・動向とその影響 (13:50-14:30)
国立極地研究所 国際北極環境研究センター 末吉 哲雄 特任准教授
- <休憩> (14:30-14:45)
- (4) 気候変動下における北方圏の水産資源 — 経済影響評価の考え方 (14:45-15:25)
東京大学大学院 総合文化研究科 成田 大樹 准教授
- (5) 海洋地球研究船「みらい」による北極海観測と砕氷船への期待 (15:25-16:05)
海洋研究開発機構 北極環境変動総合研究センター 西野 茂人 主任技術研究員
- <休憩> (16:05-16:20)
- (6) 最新の砕氷船における北極域海洋・海氷の観測とその応用 (16:20-17:00)
北見工業大学 社会環境工学領域 館山 一孝 准教授
- (7) 北極海航行支援に向けた観測・予測技術の展望と砕氷船への期待 (17:00-17:40)
東京大学大学院 新領域創成科学研究科 山口 一 教授
- (8) 閉会あいさつ (17:40-17:45)
国立極地研究所国際北極環境研究センター 宮岡 宏 センター長
- (9) アンケートご記入 (17:45-17:50)

意見交換会:

会費: ¥2,000

時間: 18:00~19:45

場所: TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター

<申込・お問い合わせ先>

北極域研究共同推進拠点事務局 (北海道大学北極域研究センター内)

j-arcnet@arc.hokudai.ac.jp

TEL:011-706-9074

FAX:011-706-9623